

# 2007年3月期中間決算説明会

(中間決算短信補足資料)

株式会社 ミューチュアル

2006.12.7(木)

代表取締役社長 三浦 浩一

執行役員経理部長 榎本 洋

# 目次

- |          |                        |                    |
|----------|------------------------|--------------------|
| <b>1</b> | <b>2007年3月期中間決算概要</b>  | <b>… P 1 ~ P 7</b> |
| <b>2</b> | <b>2007年3月期通期業績見通し</b> | <b>… P 8 ~ P13</b> |
| <b>3</b> | <b>当社の基本戦略</b>         | <b>… P14 ~ P22</b> |

# 2007年3月期 中間決算概要

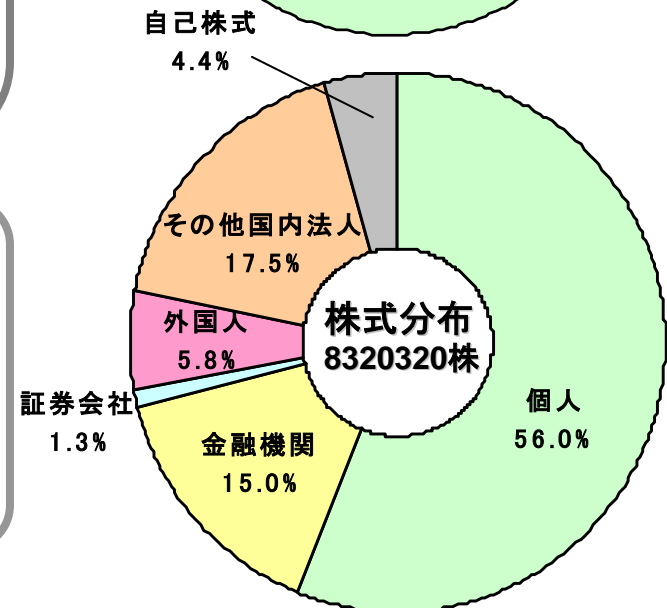
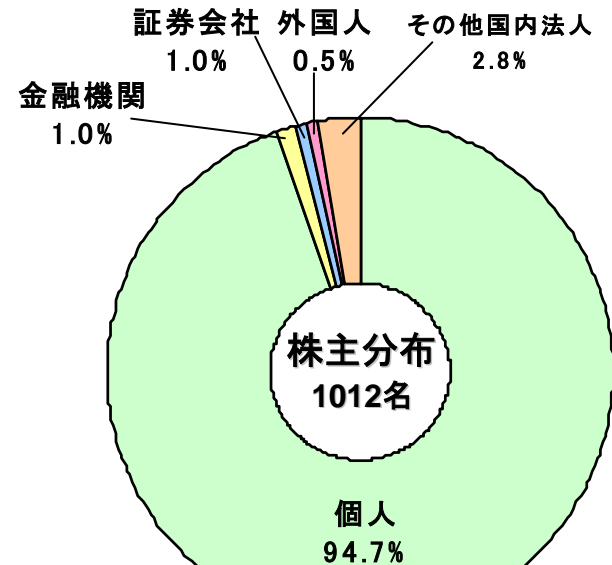
執行役員 経理部長      榎本   洋

# 会社概要

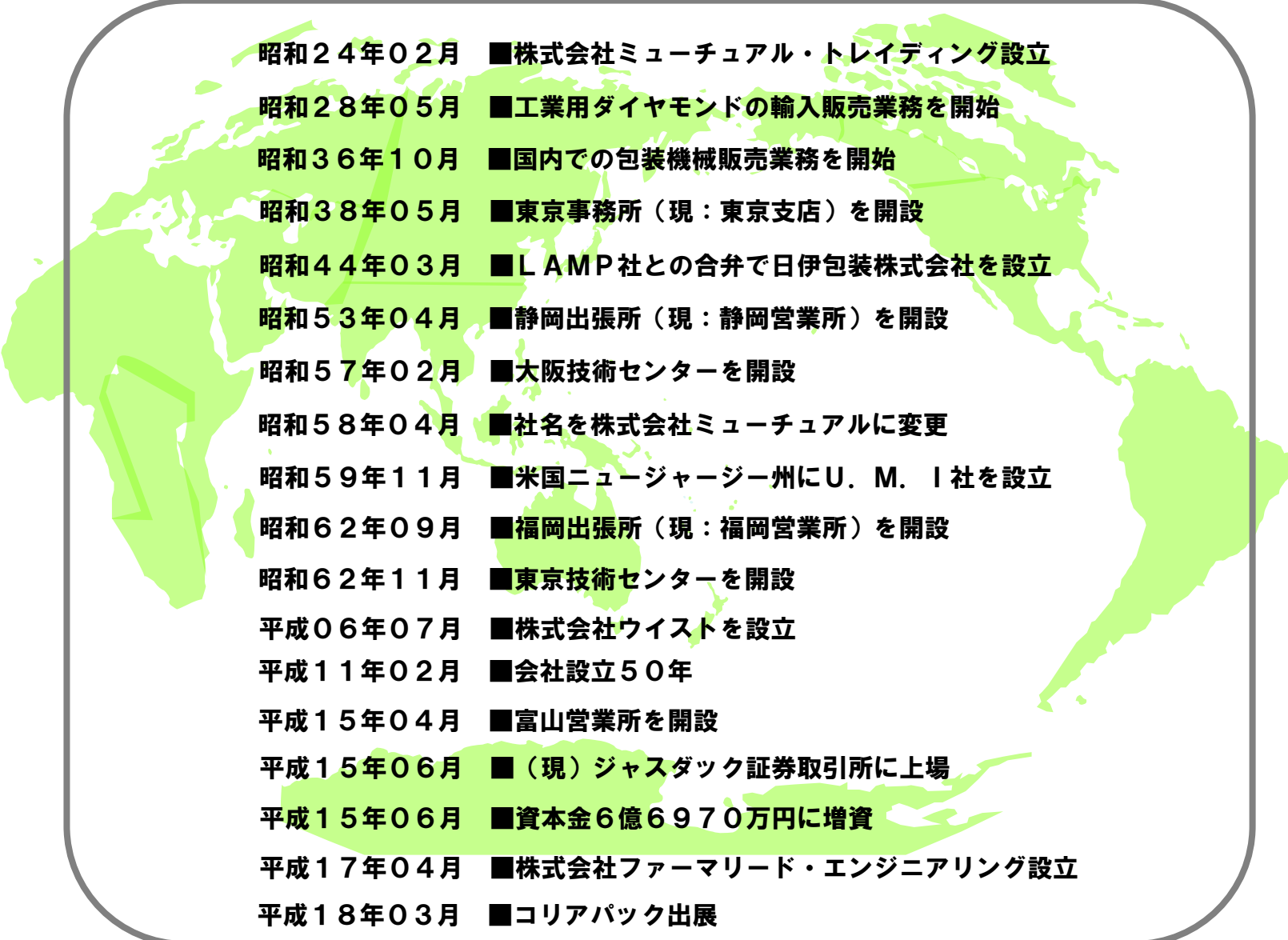
**社名** 株式会社ミューチュアル  
**会社設立** 昭和24年(1949年)2月14日  
**代表者** 代表取締役会長 三浦 隆  
 代表取締役社長 三浦 浩一  
**本社** 大阪市北区天神橋7丁目1番10号  
**資本金** 6億6970万円  
**社員数** 124名【連結】 110名【単体】  
**関係会社** 3社  
**上場** 2003年6月12日ジャスダック証券取引所  
 証券コード2773

## 事業内容

主として、医薬品業界、化粧品業界向けの製剤・包装関連設備を中心とした産業機械等の改良・製造・販売のほか、工業用ダイヤモンドの販売、包装資材の製造・販売等



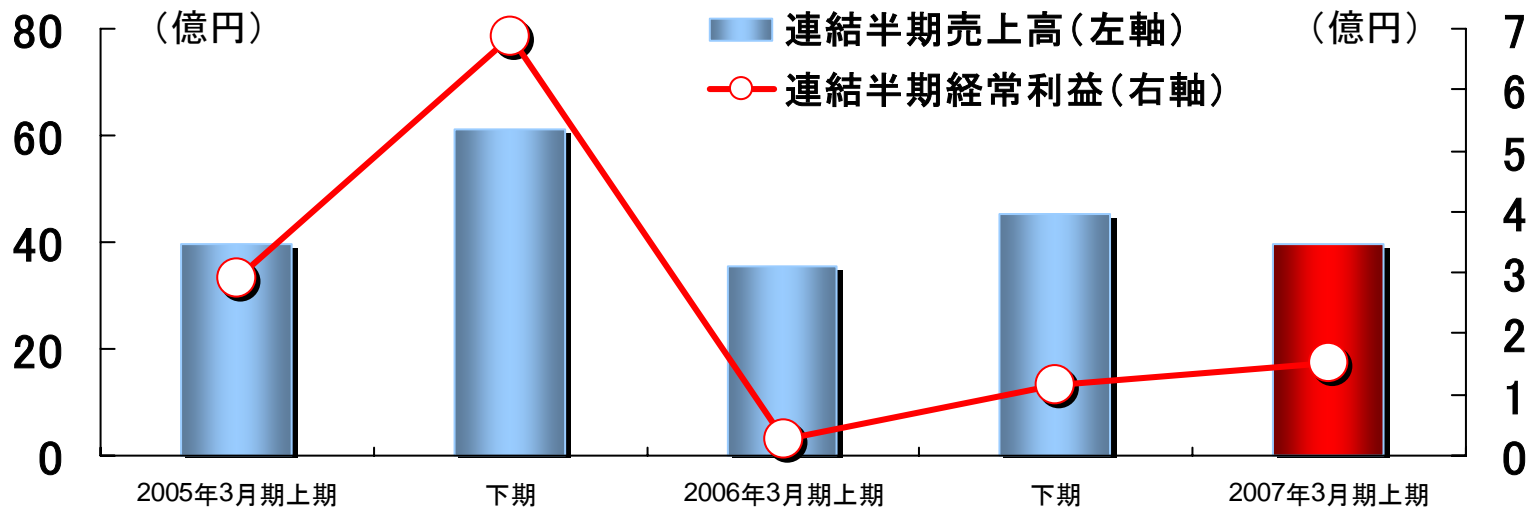
# 沿 革

- 
- 昭和24年02月 ■株式会社ミューチュアル・トレーディング設立
  - 昭和28年05月 ■工業用ダイヤモンドの輸入販売業務を開始
  - 昭和36年10月 ■国内での包装機械販売業務を開始
  - 昭和38年05月 ■東京事務所（現：東京支店）を開設
  - 昭和44年03月 ■LAMP社との合併で日伊包装株式会社を設立
  - 昭和53年04月 ■静岡出張所（現：静岡営業所）を開設
  - 昭和57年02月 ■大阪技術センターを開設
  - 昭和58年04月 ■社名を株式会社ミューチュアルに変更
  - 昭和59年11月 ■米国ニュージャージー州にU. M. I社を設立
  - 昭和62年09月 ■福岡出張所（現：福岡営業所）を開設
  - 昭和62年11月 ■東京技術センターを開設
  - 平成06年07月 ■株式会社ウイストを設立
  - 平成11年02月 ■会社設立50年
  - 平成15年04月 ■富山営業所を開設
  - 平成15年06月 ■（現）ジャスダック証券取引所に上場
  - 平成15年06月 ■資本金6億6970万円に増資
  - 平成17年04月 ■株式会社ファーマリード・エンジニアリング設立
  - 平成18年03月 ■コリアパック出展

## 2007年3月期中間決算

# 概況ポイント

- ・ 前期発生した大口取引先の低採算案件は一掃
- ・ 売上原価、販管費の削減効果により営業利益率が改善
- ・ 連結子会社業績も堅調に推移(ファーマリード・エンジニアリング株式会社は25百万円の赤字)



2007年3月期中間期

## 連結 損益計算書

(単位：百万円)

	06年3月期 通期		06年3月期 上期		07年3月期 上期		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	8,063	100.0%	3,542	100.0%	3,976	100.0%	12.2%
売上総利益	1,520	18.8%	706	19.9%	856	21.5%	21.2%
販売管理費	1,522	18.8%	748	21.1%	723	18.2%	△3.3%
営業利益	△1	—	△42	−1.1%	132	3.3%	—
経常利益	141	1.7%	25	0.7%	151	3.7%	492.1%
当期純利益	46	0.5%	△2	—	71	1.7%	—

- ・売上総利益率が19.9%から21.5%に大幅改善(150百万円増加)
- ・販売費及び一般管理費も前年同期より25百万円減少
- ・営業利益、当期純利益とも黒字転換

2007年3月期中間期

# 連結 貸借対照表

(単位：百万円)

	‘06年3月 上期	‘06年3月 通期	‘07年3月 上期	増減額		‘06年3月 上期	‘06年3月 通期	‘07年3月 上期	増減額
現金及び預金	2,876	2,766	2,778	12	支払手形及び買掛金	2,164	2,104	2,317	213
受取手形及び売掛金	2,194	2,931	2,675	-256	短期借入金	31	89	107	18
棚卸資産	1,440	1,151	1,384	233	前受金	1,057	962	996	34
その他	1,178	825	927	102	その他	223	359	314	-45
流動資産合計	7,689	7,675	7,765	90	流動負債合計	3,475	3,516	3,734	218
有形固定資産	791	763	743	-20	固定負債合計	881	918	921	3
無形固定資産	23	22	21	-1	負債合計	4,356	4,434	4,656	222
投資その他の資産	2,959	3,133	3,212	79	少数株主持分	243	239	(244)	(5)
固定資産合計	3,775	3,919	3,977	58	純資産合計 (注1)	6,864	6,921	7,087	-
資産合計	11,464	11,595	11,743	148	負債及び純資産合計	11,464	11,595	11,743	148
	-	-	-	-	(有利子負債)	31	89	107	18

(注1)前年は資本合計

- ・ 総資産は148百万円増加
- ・ 自己資本率は59.7%より58.2%へ低下
- ・ 自己株式は20百万円(38千株)増加
- ・ 短期借入金18百万円増加(実質無借金経営)
- ・ 棚卸資産増加の内、188百万円は受注済仕掛品の増加
- ・ 仕入債務の増加は、棚卸資産の増加対応



2007年3月期中間期

## 連結 キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2005年度 上期	2005年度 通期	2006年度 上期
営業活動によるキャッシュフロー	223	△ 118	210
投資活動によるキャッシュフロー	9	232	△94
財務活動によるキャッシュフロー	△97	△89	△103
現金及び現金同等物の期首残高	2, 658	2, 658	2, 682
現金及び現金同等物の期末残高	2, 793	2, 682	2, 696

- ・営業活動によるキャッシュフローは、棚卸資産増加232百万円、売上債権減少256百万円、仕入債務増加212百万円
- ・投資活動によるキャッシュフローは、投資有価証券の取得204百万円など
- ・財務活動によるキャッシュフローは、配当金の支払99百万円

# 2007年3月期中間期 セグメント別売上構成

## ■ 品目別販売構成比

(単位:百万円)

	2005/9	2006/9	前期比
一連ライン	1,183	1,166	△1.5%
製剤機	426	365	△14.3%
包装機	281	366	29.9%
充填機	212	648	205.4%
検査装置	345	177	△48.0%
部品	408	541	32.7%
修理・改造・調整	390	415	6.6%
工業用ダイヤモンド	230	220	△4.3%
その他	67	78	16.4%
合計(全体)	3,542	3,976	12.2%

## ■ 地域別構成比

(単位:百万円)

地域	05/9	06/9	前期比
国内	3,441	3,794	10.3%
北米	2	6	200.0%
アジア	99	170	71.7%
その他	0	6	-
合計	3,542	3,976	12.2%

## ■ 業界別販売構成比

(単位:百万円)

業界	05/9	06/9	前期比
医薬品・化粧品	3,181	3,703	16.4%
食品	32	40	25.0%
その他	329	232	△29.5%
合計	3,542	3,976	12.2%

# 2007年3月期 通期業績見通し

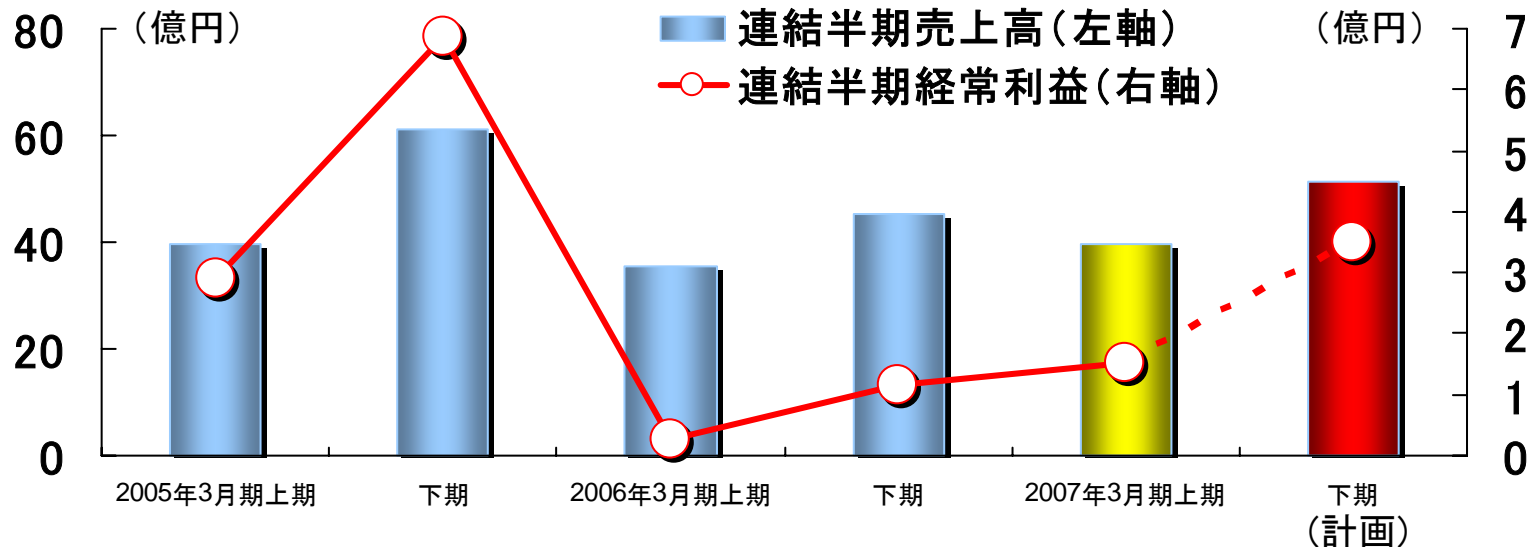
代表取締役社長

三浦 浩一

2007年3月期通期

## 通期見通し概況ポイント

- ・ '06/3月(上期)を底に経常利益好転  
期初見込みより増額(26.6%増) 通期5億円
- ・ 受注残高が潤沢 期末は過去最高の予定



2007年3月期通期

## 連結 損益計算書 (予想)

(単位：百万円)

	06年3月期 通期		07年3月期 上期		07年3月期 通期		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	8,063	100.0%	3,976	100.0%	9,125	100.0%	13.2%
売上総利益	1,520	18.8%	856	21.5%	1,934	21.2%	27.2%
販売管理費	1,522	18.8%	723	18.2%	1,464	16.2%	△ 3.8%
営業利益	△1	—	132	3.3%	469	5.1%	—
経常利益	141	1.7%	151	3.7%	500	5.5%	254.6%
当期純利益	46	0.5%	71	1.7%	262	2.9%	469.6%

- ・9月末受注残高は5907百万円(前年同期比18.1%増)
- ・低採算案件がなく通期でも利益率改善
- ・販管費は通期でも減少する見通し
- ・株式会社ウイストは経常利益42百万円へ黒字転換(前期は27百万円の経常損失)

## 関連会社の状況

(単位:百万円)

	2006年3月期			2007年3月期(予想)		
	売上高	経常利益	当期純利益	売上高	経常利益	当期純利益
日伊包装(株)	83	44	26	84	13	15
(株)ウイスト	677	△27	△16	650	42	24
ファーマリード・エンジニアリング(株)	11	△70	△70	52	△45	△45



日伊包装  
「コンテナー」



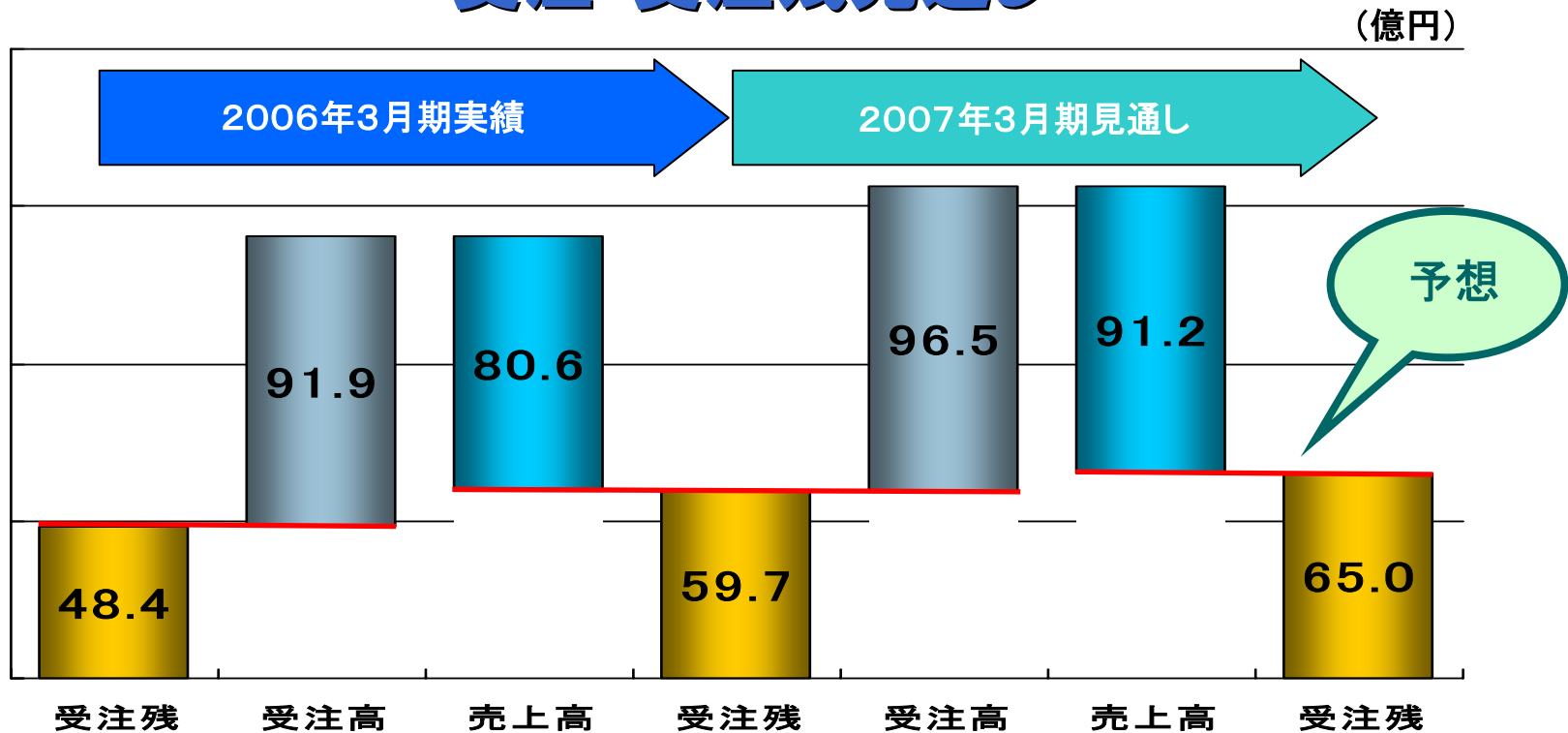
ウイスト  
「自動反転式洗ビン機 WS-4R」



ファーマリード・エンジニアリングHP

2007年3月期通期

## 受注・受注残見通し



- ・受注予想は96.5億円で前期比5.0%増(前期比4.6億円増)
- ・受注残予想は65.0億円で前期比8.9%増(前期比5.3億円増)

# 2007年3月期通期 セグメント別売上構成

## ■ 品目別販売構成比（予想）

（単位：百万円）

	2006/3	2007/3	前期比
一連ライン	2,800	3,527	26.0%
製剤機	626	726	16.0%
包装機	660	870	31.8%
充填機	735	855	16.3%
検査装置	752	655	△12.9%
部品	1,023	1,001	△2.2%
修理・改造・調整	702	769	9.5%
工業用ダイヤモンド	478	444	△7.1%
その他	284	277	△2.5%
合計(全体)	8,063	9,125	13.2%

## ■ 地域別構成比（予想）

（単位：百万円）

地域	06/3	07/3	前期比
国内	7,867	8,826	12.2%
北米	2	6	200.0%
アジア	193	287	48.7%
その他	0	6	—
合計	8,063	9,125	13.2%

## ■ 業界別販売構成比（予想）

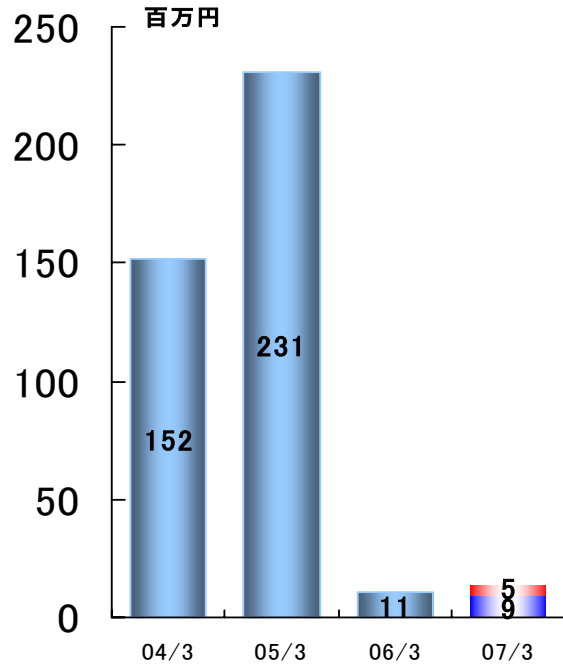
（単位：百万円）

業界	06/3	07/3	前期比
医薬品・化粧品	7,092	8,200	15.6%
食品	276	140	△49.3%
その他	695	785	12.9%
合計	8,063	9,125	13.2%

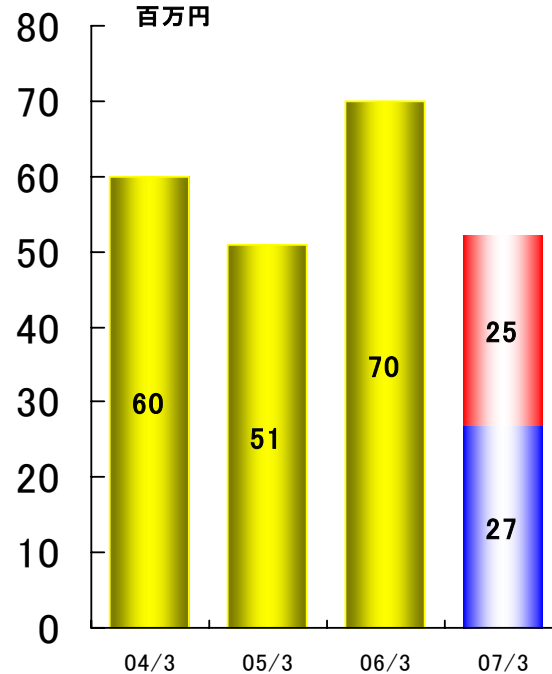


# 設備投資額／減価償却額／研究開発費

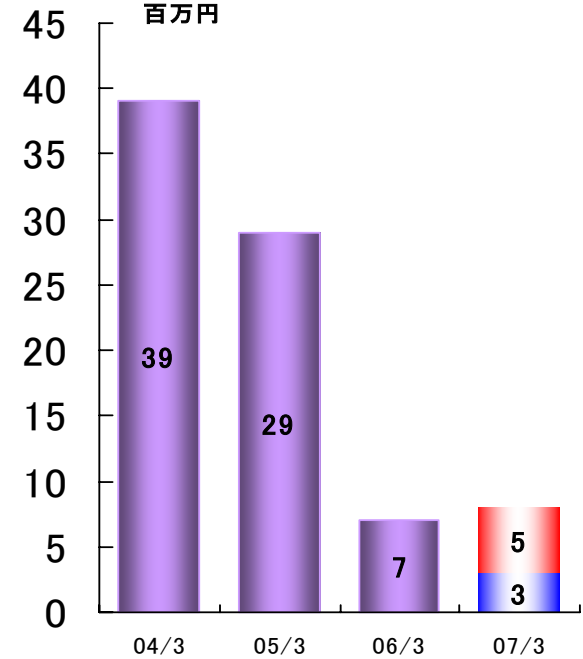
■ 設備投資額の推移



■ 減価償却額の推移



■ 研究開発費の推移



(単位:百万円)

期別 項目	04/3期	05/3期	06/3期			07/3期		
			上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資額	152	231	6	5	11	9	5	14
減価償却費	60	51	34	36	70	27	25	52
研究開発費	39	29	4	3	7	3	5	8

(予想)

● 設備投資

東京技術センターの移転

04/3期下期 土地購入

05/3期下期 建屋建築

● 研究開発費

新規機械の開発

# 当社の基本戦略

代表取締役社長

三浦 浩一

# 経営理念 社 是

私たちは、社業を通じて、社会の発展に寄与し「共存共栄」をモットーとしてお取引先・株主・社員の豊かな未来を目指します。

**ミューチュアル = “ 互いに協力する共存の精神 ”**

お取引先の立場になって考え、行動し多彩なユーザーニーズを満たすことで共に発展・繁栄する事を喜びとしております。

社員一人一人が自らの人格を磨き、助け合い・力を合わせて会社の発展に尽くすと共に社会に貢献する事で企業としての存在価値を見出し、又各人の幸福を追求してゆくことを念じているのであります。

# 市場・業界環境と当社の対応

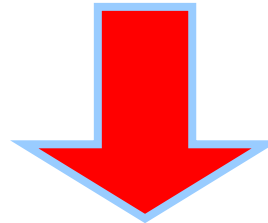
## 医薬品業界の動向

- ・ 大手製薬会社の合併・提携による業界再編が加速
- ・ 薬事法改正に基づく製造委受託の進行

集中と選択

事業分野の絞込み  
機能単位の事業再編

製販分離

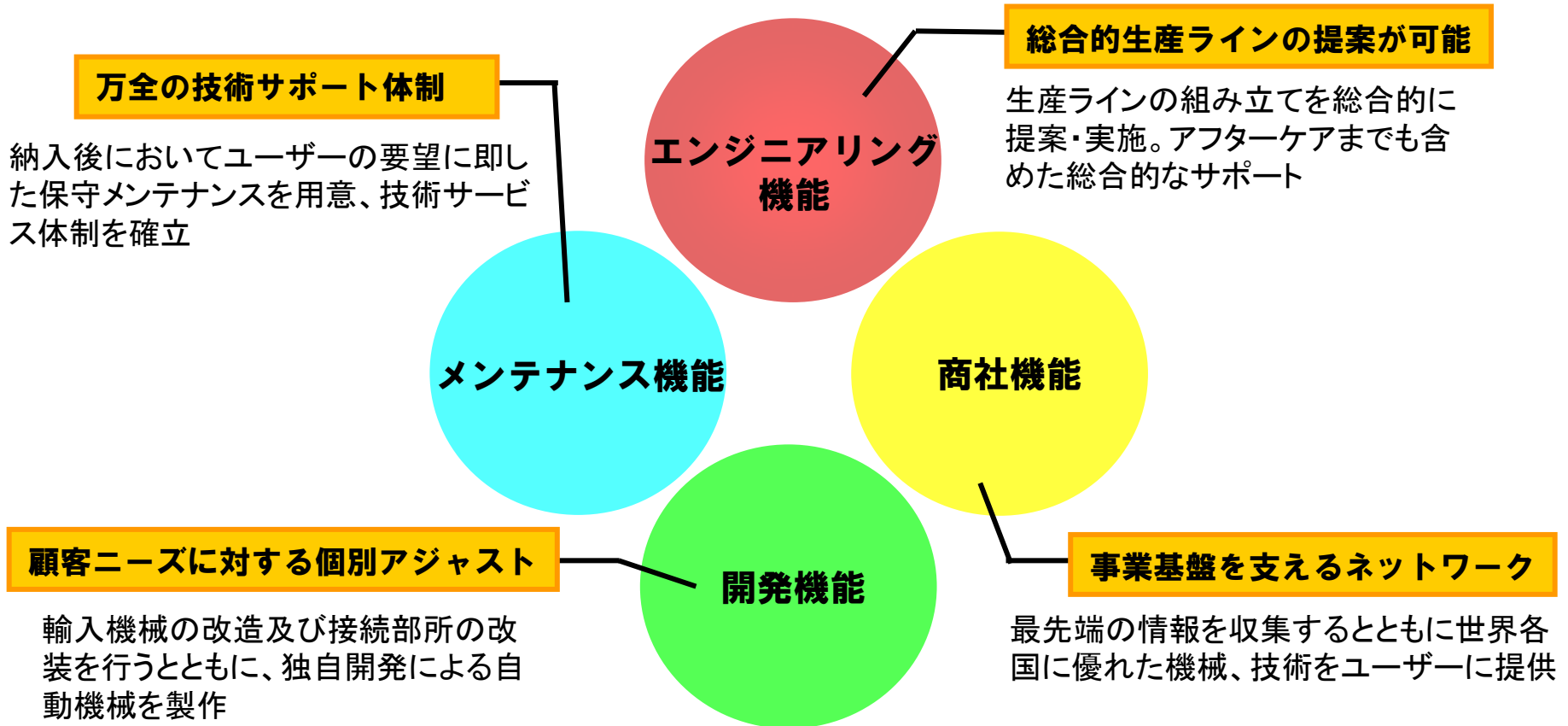


## 当社の方向性・スタンス

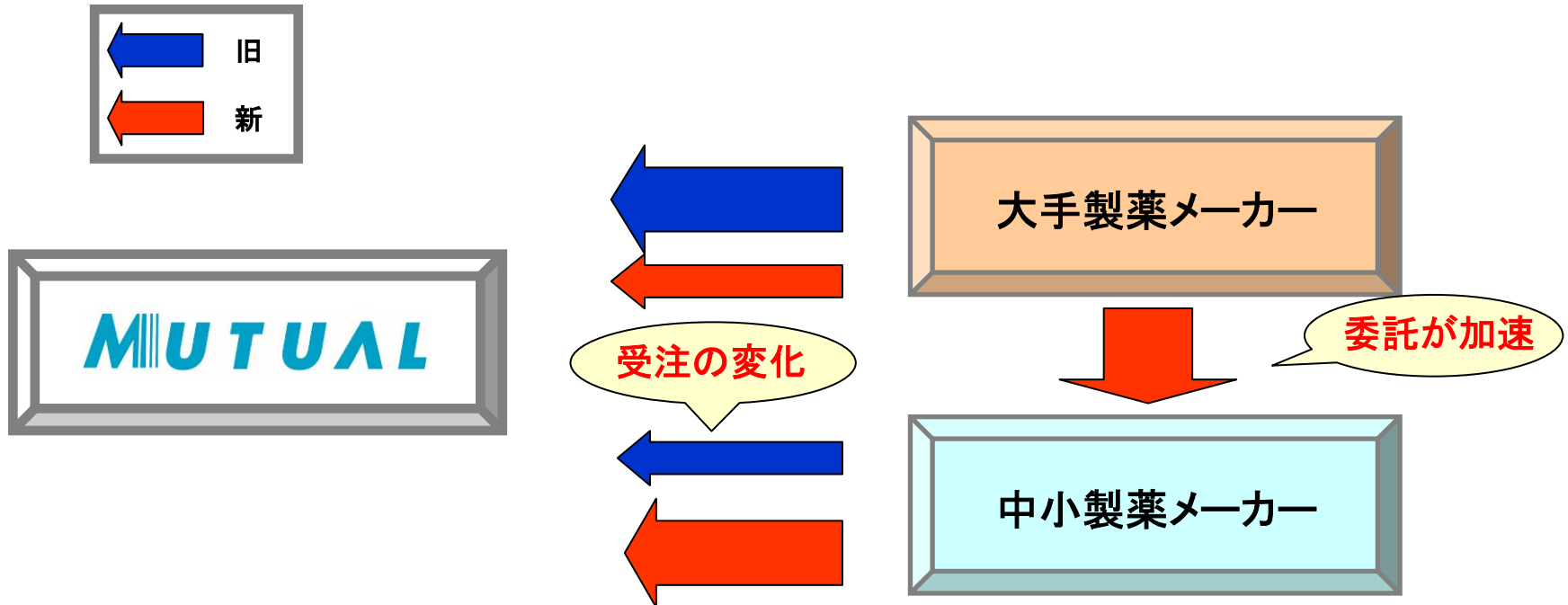
- ★ エンジニアリング力の強化・一連ラインの推進
- ★ 技術サービス力の育成
- ★ メンテナンス部門の拡大
- ★ 新製品の市場投入による製品・品揃えの充実
- ★ 海外市場展開のネットワーク・拠点の構築

# 当社の強み

## 4つの機能の総合力で多様な顧客ニーズに応える



# 委受託による変化 (1)

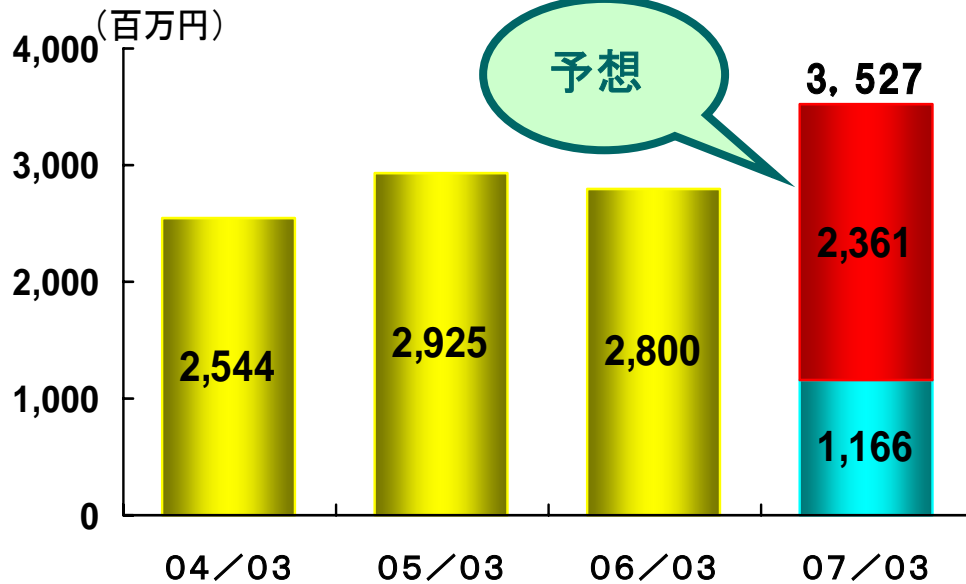


## 客先のニーズは多品種生産ラインへ

各大手メーカーからの受託生産であるがため、容器形状が多品種となり、今後もその傾向が続くため多品種に対応可能なラインが求められる

## 委受託による変化 (2)

### ■ 一連ラインの売上高推移(全社)



### ■ (例) 富山営業所受注・売上高推移(2003年開設)

	'06/3期 通期	'07/3期 上期	'07/3期 下期(予)	'07/3期 通期(予)
受注高	868	886	1,150	2,036
売上高	711	458	882	1,340
受注残	478	906	1,174	1,174



# 得意としているラインの具体例

## 錠剤製造包装ライン

打錠工程

フィルムコーティング工程

錠剤印刷・検査工程

PTP包装工程

ピロー包装工程

箱詰工程

段ボール詰工程

パレット積工程



## ブローフィルシール充填包装ライン

レジン搬送関連工程

成形充填工程

検査工程(カメラ)

バッファー装置

ピロー包装工程

箱詰工程

段ボール詰工程

パレット積工程



## 貼付剤製造包装ライン

調練合工程

展膏工程

異物検査工程

裁断・集積工程

四方シール包装工程

集積箱詰工程

段ボール詰工程

パレット積工程





## 新製品の市場への投入

### 医薬品用 ゴム栓洗浄機:AS-1

- 厚生労働省の無菌操作法による無菌医薬品の製造に関する指針(案)によるエンドキシンチャレンジテストで99.9%(3ログ)以上減少を達成。  
従来機では、チャレンジテストで99.9%(3ログ)以上減少するのに数時間かかったものが数分にて達成可能にした画期的な洗浄輸送機



### 高活性医薬品製造設備(封じ込め技術)

- 近年益々増えつつある抗がん剤、ホルモン製剤、高アレルギー製剤等、医薬品原料の暴露による製造従事者の保護及び製造工場の環境保護対策のために開発された最新鋭機です。



## 海外市場への積極的参入

- 海外ネットワークの整備
  - ・欧米市場の拠点を選定中
  - ・内製、外製の優れた機械を海外に展開
  - ・海外主要展示会に積極的な出展

### ■ 2006コリアパック(韓国開催)



### ■ メンテナンス契約実績 & 予想

(契約実績)	契約数	契約金額
2005/3月期	47件	64百万円
2006/3月期	87件	147百万円
2006/9月期	55件	96百万円
2007/3月期(予)	100件	200百万円

## メンテナンス分野の拡大

- 総合的生産ラインのアウトソーシングに対応、受託中堅医薬品メーカーの生産設備保守要員不足をターゲットにし、メンテナンス一括契約の拡大、更なる顧客満足度向上を図る

# 利益還元・資本政策

## (1) 配当状況

年度	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期(予)
配当金	10円	15円	15円	15円	15円

## (2) 配当性向

\* 内上場記念配当5円含む

年度	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期(予)
配当性向(%)	11.0	14.6	11.8	101.7	40.7

## (3) 自己株式の取得

2004年11月～2005年3月	890百株	
2005年8月～2006年3月	1,099百株	(2,715百株)
<b>2006年8月～2007年3月</b>	<b>1,800百株</b>	<b>← 取得予定</b>

## (4) 単元株の変更

1000株から100株へ変更 (2005年10月1日より実施)

## (5) 株式の分割

2004年5月20日	普通株1株を1.2株に分割	(963,000株増)
2005年5月20日	普通株1株を1.2株に分割	(1,155,600株増)
2006年4月1日	普通株1株を1.2株に分割	(1,386,720株増)

# ミューチュアル決算説明会にご参加して頂きありがとうございました

## 将来の見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている株式会社ミューチュアルの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願いいたします。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解ください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、需給、世界情勢などが含まれます。

## お問い合わせ先

---

株式会社ミューチュアル

取締役総務部長 住中秀和

TEL:06-6351-3521

FAX:06-6357-6105

E-MIL: info@mutual.co.jp